

# つながる

子どもをチームで支援する校内体制づくり



学級担任

教師と教師が、つながる  
学校と保護者が、つながる  
学校と関係機関が、つながる

学年主任  
学年部メンバー

管理職

チーム支援の実現には  
管理職のリーダーシップ  
が不可欠です。

生徒指導主事・養護教諭  
特別支援教育コーディネーター  
教科主任・教育相談担当 など

適応指導教室  
子ども療育センター  
民生委員・児童委員  
医療機関 など

スクールカウンセラー  
スクールソーシャルワーカー  
ハートなんでも相談員  
中1ギャップ支援員 など

子どもを、保護者を、学級担任を孤立させないチーム支援

## ケース会議を活用したチーム支援

- 1 チームリーダーを決めて、子どもとかかわりのあるメンバーをリストアップする。
- 2 日程を調整する。(1回目は、短時間であってもなるべく早いタイミングで開く)
- 3 ケース会議を実施する。
  - 子どもや保護者の状況をメンバーで共有する。
  - 支援の目的(登校の支援、学習の支援、学級担任の負担軽減など)を明確にする。
  - 具体的な支援方法を話し合う。(だれが、だれに、どんなときに、どんな場所で、どう働きかけるか)
  - 支援のための連携について話し合う。
    - ・ 相談機関や医療機関
    - ・ 校外の専門家 など
  - 個人や家族の情報等の秘密の保持について確認する。
- 4 話し合った支援をそれぞれのメンバーで実行する。
- 5 メンバーは支援内容と状況を記録し、チームリーダーに伝える。
- 6 チームリーダーは支援の状況を取りまとめて、メンバーにフィードバックする。
- 7 チームリーダーは一連の支援の状況を管理職に伝える。
- 8 状況の進展や新たな課題等必要に応じて、次のケース会議を計画する。

ケース会議は、チーム支援の  
メンバーが支援の方針や方法  
を話し合う大事な機会です。